

教科	美術科	学年	2 学年	標準授業時間数	35 時間（週 1 時間）
----	-----	----	------	---------	---------------

目 標	教科目標	表現および鑑賞の幅広い活動を通して、創造活動の喜びを実感させ豊かな感性を育てる。心豊かに生きることと美術との関わりに関心を持ち、お互いの作品や美術作品のよさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。
	具体目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用具を忘れずに準備し、きちんと片づけ、意欲的に作品の制作に取り組む。 ・ 発想能力を十分に働かせ、創意工夫をする。 ・ 色や形の性質や様々な用具の正しい使用法を理解し、美しい表現へと生かす。 ・ 自分や他の生徒の作品・その他の美術作品の鑑賞を通して、よさや課題を発見しその後の表現活動に生かす。

評 価	観 点	美術への関心 ・ 意欲・態度	主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、その喜びを味わい美術を愛好していこうとする。
		発想や構想 の能力	感性や想像力を働かせ、感じ取ったことや考えたことなどをもとに豊かに発想する。
		創造的な技能	表現の技能を身につけ自分なりの表現方法を創意工夫し創造的に表す。
		鑑賞の能力	様々な美術作品に親しみ、よさや美しさを感じ取ったり、理解する。
	材 料	・ 作品 ・ クロッキー帳 ・ 鑑賞カード ・ 自己評価カード	
方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイデアスケッチや資料収集を行っているか ・ 鑑賞カードや自己評価カードをきちんと考え記入しているか ・ 作品の提出期限を守り、最後まで丁寧に制作しているか ・ 定期テスト 以上のことを中心に総合的に判断する。		

学 習 方 法	使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 美術 2・3 上 創造の喜び（日文） ・ 副教材 美術資料広島県版（秀学社） 	
	学習形態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に、美術室で授業を行う。 ・ 個人制作・学習を基本とするが、単元や内容によってはグループ制作・学習をする。 	
	学 習 進 め	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作過程を十分理解した上で、資料などを利用しアイデアスケッチをするなど構想を練る。 ・ 提出期限を必ず守り、意欲を持って最後まで丁寧に制作する。 ・ わからないことなどは質問し、より質の高い作品の制作を目指す。 ・ 生徒作品や美術作品のよさや美しさを素直に感じ取り、それを自分の表現活動へと結びつける。 ・ 自分の作品に自信を持ち、がんばったことなどを語れるようにし、また、他の生徒の作品や美術作品のよさを認めることができるようになる。
		家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の解説や、授業において記録した事柄などをしっかり読み返し、理解する。 ・ 授業で配布されたプリントや資料などを参考にして、様々なアイデアを練る。 ・ 自分の表現意図や課題を明確にし、資料をできるだけたくさん集め整理する。 ・ 構想や作業に時間や手間がかかるときは、家庭学習で補う。

学習内容

月	単元名・項目	学習のポイント
4	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りの楽しみ 〈木彫バードコール〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・使う場所や使う目的を考え、実用性と装飾性とを兼ねた、楽しく使えるものや飾れるものをつくる。 ・制作の手順や方法を考え、計画的につくる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えよう大切なこと 〈レタリング〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたことや考えたことの有効な伝達方法について考える。 ・効果的に伝えるための材料や形や色について考え、その使い方を工夫する。 ・伝えたいことや主張したい内容を表し方を工夫して、ポスターなどに表現する。
6		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・心のスケッチ、思い出の表現 〈デッサン〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の中に残る印象的な思いやイメージなどをデッサンで表す。 ・鉛筆や他の画材を使用しての表現方法を工夫し、効果的に美しく表す。
9		
10	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージの広がり 〈模写 飾り盆〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現のイメージに合わせて色や形、構成のしかたを工夫する。 ・想像力を働かせて既成の表現形式にとらわれない独自のイメージで表現する。
11		
12		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋を魅了した浮世絵 〈鑑賞レポート〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の浮世絵が19世紀の後半に西洋の美術に与えた影響について知り、東西の文化交流の意義やその成果についての関心を高める。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・表したい場面 〈アートグラス〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな物語や詩から触発されたイメージや強く心に焼き付いているイメージを、自由に膨らませながら、スクラッチで表現する。 ・表したいイメージに合った技法や色彩を工夫し、効果的にいきいきと表す。
3		
年間	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞会 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの作品や様々な美術作品の鑑賞を通してよさを発見し、自分の作品制作に生かす。